

第1回寝屋川市放課後子ども総合プラン運営委員会議事録

1 日時 令和6年2月13日（火） 午前10時45分から

2 場所 議会棟4階 第一委員会室

3 出席状況

(1) 出席委員 （13名）

杉本委員長、枡井副委員長、西脇委員、吉永委員、清水委員、土保委員、山中委員、栗原委員、宮地委員、糸見委員、村上委員、山本委員、谷口委員

(2) 欠席委員 （2名）

井戸委員、中村委員

(3) 事務局 （4名）

岡元課長、大橋係長、徳留、高岡

4 次第

(1) 委員自己紹介

(2) 委員長及び副委員長の選出 （委員長 杉本委員 副委員長 枡井）

(3) 放課後子供教室と令和5年度運営委員会の経過について

(4) 今後の審議予定について（令和6年度～）

- ・情報共有の在り方
- ・地域の実情に応じた防犯・防災などの安全面に関する研修の充実
- ・他市事例も踏まえた本市の放課後の在り方

(5) その他

事務局：放課後子供教室と令和5年度運営委員会の経過について説明

意見交換：

- ・ 情報共有の在り方としては、運営委員会では社会教育推進課事務局を中心にメールのやり取りで情報共有できるのではないかと。
- ・ 土曜日等にプログラムを開催する場合、教員の参加は難しい。地域のコーディネーターを育成することで開催が可能となるが人材の確保や、既存の人材で新たに育成することは難しい。

- ・ 事業継続において、システム化していないと継続が難しいと感じる。実行委員等関係者が交代し、新しい実行委員になると以前の情報がなく1からのスタートとなるので難しさを実感している。
- ・ 活動するにあたり、学校・利用者・ボランティアのニーズやルールが違うので葛藤を感じることがある。校庭開放では、学校とは違うルールで遊べるので、楽しめているが、激しくなりケガにつながることもある。
- ・ 授業終了後から放課後のプログラムが開始するので、低学年は参加できる日数が少なくなってしまう。また兄弟の授業終了を待ち一緒に下校する姿があるのでその時間の居場所を作りたいと思っている。
- ・ おやじの会の協力を得て、「逃走中」等の全学年対象のプログラムを開催した。地域での横の繋がりを感じることができ、楽しい時間を共有することもできたので、で今後も活動が続けていきたい。また、他の実行委員と交流があり実施にあたり検討することができた。
- ・ 校庭開放後には安全管理員と下校することで安全対策が図った。
- ・ 他市事例も踏まえた本市の放課後の在り方については、今後の運営委員会で議論を深めていきたい。
- ・ 親以外の大人との係わりが希薄化してきている中で、放課後子供教室では地域の方との関りがあるので今後も大切にしていきたい事業である。